

令和7年6月30日、宮城県東松島市において、増築・改修のため休館していた東松島市図書館がリニューアルオープンし、式典が開催されました。式典には、事業主である東松島市の渥美巖市長をはじめ、東松島市議会の齋藤徹副議長、東北防衛局の池松英浩局長など関係者のほか、矢本西小学校の児童が出席しました。

本施設は、平成4年度に、松島飛行場の運用に伴う読書や学習への影響を緩和する民生安定施設として整備されましたが、平成17年の旧矢本町と旧鳴瀬町の合併により東松島市が誕生したことから、施設利用者数が増加し、開架スペースが狭いという課題が生じていたことや、津波浸水想定浸水エリアとなっていることを踏まえ、東松島市が令和6年度～令和7年度に、総事業費約3億円のうち、防衛施設周辺的生活環境の整備等に関する法律第8条に基づく補助金約8千万円を活用して、再整備しました。

式典で、渥美市長は関係者への感謝を示し、「市民の皆様が、この施設を大いに活用され、学習による探求する心の醸成、読書を通じた親子のふれあい、心の豊かさを養うこと、そして元気なまちづくりの一助となることを祈念している。」と挨拶しました。また、池松局長は祝辞を述べるとともに、「子供の頃、図書館でたくさん本を読んだことが、その後とても役に立っている。」ことを紹介し、児童達に読書を促しました。

再整備した図書館の全景



図書館の完成を祝いテープカット

